

## 1. インドとタイとの政策上の主な違い

### 1) 概要

インドの食品セクターに対する政策を、これまで食品企業の誘致と産業競争力向上に成功してきた東南アジアのタイとを比較すると、法人税減免に代表される「投資インセンティブ」の有無が両者の差として挙げられる。

インドの食品セクターに対する産業政策は、メガフードパーク構想に代表されるように、農産物生産者、集荷等の中間流通業者、製造企業(一次加工企業を含む)を一定地区に集約させることで、①農水産物の高付加価値化、②農水産物の廃棄率の低減、③食品セクターに係る雇用の創出と所得の増加等を図るものである。

産業の競争力を高める方策の 1 つとして、対象産業に対して法人税の減免、原材料の輸入に係る付加価値税の免除等の「投資インセンティブ」を付与することがあるが、インドの場合は進出先の州が付与する投資インセンティブはあるものの、中央政府が主導して法人税の減免を企業に付与する内容ではない。

インドとは対照的に、タイでは、政府が法人税の減免等を付与することで企業の誘致や産業競争力の向上に成功している。特に 2014 年末までは「ゾーン制」が採用され、首都バンコクよりもインフラ整備や所得水準の低い地方部への投資プロジェクトに対して、より長い期間の法人税の減免等の投資インセンティブを付与してきた。また、税制での優遇が多い地方部に、タイ工業省管轄のタイ工業団地公社 (Industrial Estate Authority of Thailand: IEAT) や民間企業が工業団地を開発し、タイ国政府が港湾、高速道路等のインフラを整備したことで、自動車セクターを中心に多くの製造企業の集積が進み、雇用機会の創出や所得の増加が図られた。

### 2) カルナタカ州の投資インセンティブ

インド南西部に位置するカルナタカ州には、既に稼働しているメガフードパーク「Integrated mega Food Park」がある。本調査での当該フードパークのゼネラルマネージャーへのヒアリングに拠ると、「当該フードパーク独自に適用されるインセンティブはなく、州政府のインセンティブが適用される」とのことであった。

図表 3-1 と 3-2 は、現在のカルナタカ州政府が用意している投資インセンティブを表したものである。但し、食品企業のみ特定した投資インセンティブはない。同州政府は、2014 年から 2019 年までの 5 年産業政策 (Karnataka Industrial Policy 2014-19) を推進しており、州内 176 地区を 6 つに区分し、原則的に経済開発が遅れている地区 (Zone 1 から数字が増えるにつれて開発が進んでいることになる) ほど手厚い投資インセンティブを用意している。反面、バンガロール市内など都市部は恩典がほとんど付与されない。

また、投資金額 1 億ルピー以上の大規模プロジェクトについても 4 段階の区分を用意し、付加価値税 (VAT) と中央売上税 (CST) について無利子ローンの形で還付されるようになっている。更に、Ultra Mega、Super Mega プロジェクトに該当する自動車、機械など特定の製造業のプロジェクトに対しては、電力使用税を 7~10 年間免除 (地区区分による)、VAT・CST の還付も優遇されるなどのインセンティブが付与される。更に、パッケージ化されたインセンティブ以外に、直接・間接の雇用創出効果やプロジェクトの立地などに応じて、州政府が特別のインセンティブを付与したり、条件を緩和したりする可能性がある。

図表 3-1 地区別の投資インセンティブ

区分名	区分	コード	該当地区数	印紙税免除(%)	農地転用手数料還付(%)	入国税免除(%)	排水処理施設建設補助金	ローン書類への優遇手数料
ハイデラバード・カルナタカ地区 (HK: Hyderabad Karnataka Area)	A	Hk-Zone 1	20	100	100	100 (工場、機械、固定資本財投資・部品、原材料に係る入国税)	投資額の50%。ただし2千万ルピーを上限	1,000ルピーあたり1ルピー
		Hk-Zone 2	11	100	100			
その他地区 (OTHK: Other than Hyderabad Karnataka Area)	B	Zone 1	23	100	100			
		Zone 2	51	100	100			
		Zone 3	62	75	75			
	C	Zone 4	9	-	-	投資額の50%。ただし1千万ルピーを上限		

(注) 印紙税免除は借入、リースに関する書類の印紙税が対象となる。入国税免除は図表 3-2 の種別と費目(「工場、機械、固定資本財」と「部品、原材料」)に応じて 3~8 年の間で対象期間が定められる。

(出所) カルナタカ州政府「Karnataka Industrial Policy 2014-19」より作成

図表 3-2 大規模プロジェクトに対する税還付インセンティブ

プロジェクト種別	要件 (上: 固定資産投資額(億ルピー)・下: 直接雇用の要件)	地域区分	無利子ローンによるVAT+CST還付(100%)	
			期間(年)	上限: 対固定資産投資額(%)
Large	1~25	A	9~10	60~75
	最低10名。以降投資額5億ルピーごとに35名増加	B	7~9	40~65
Mega	25~50	A	10~11	75~90
	最低200名。以降投資額5億ルピーごとに40名増加	B	8~10	50~80
Ultra Mega	50~100	A	11~12	85~95
	最低400名。以降投資額5億ルピーごとに40名増加	B	9~11	60~85
Super Mega	100~	A	13~14	95~100
	最低800名。以降投資額20億ルピーごとに40名増加	B	11~13	75~95

(出所) カルナタカ州政府「Karnataka Industrial Policy 2014-19」より作成

### 3) タイの投資インセンティブ

タイの投資優遇策は、タイ投資委員会(BOI)布告第 2/2557 号に基づいた「7 カ年投資奨励戦略(2015~21年)」を基に、2015年1月より実施されている。従前のゾーン制から、「産業の高付加価値化」や「産業の国際競争力」を高める方針に舵が切られており、付加価値創出が小さい品目や業種は投資インセンティブの対象外となっている。

現行の投資奨励策はプロジェクトベースでの認可となり、投資奨励恩典は基本恩典である「業種に基づく恩典」と「メリットによる追加恩典」の2つに大きく分けられる。

食品セクターに関しては、「業種に基づく恩典」の享受が可能なケースが多い。同恩典は国の競争力に対する業種の重要度に応じ、A1~A4、B1、B2の6グループが設定され、A1(デザインやR&D等)が最も厚い恩典を受けられる(図表3-3)。

例えば、「最新技術を使用した食品の製造・保存、飲料、食品添加物、または食品調合物の製造(一部品目を除く)」の場合はカテゴリ「A3」に含まれ、タイ投資委員会の所定の手続きを経ることで、5年間の法人所得税の免除や、機械・原材料の輸入税の免除を受けられる。また、「医療食品または栄養補助食品の製造」はカテゴリ「A2」に含まれ、法人所得税の免除期間は8年となっている(図表3-4)。

製造企業だけではなく、中間流通業や倉庫業に対しても恩典はある。一定の土地面積等の条件はあるが、「農産物取引センター」はカテゴリ「A3」に、「冷蔵・冷凍倉庫、または冷蔵・冷凍倉庫および冷蔵・冷凍運輸」はカテゴリ「B1」となっている。

図表 3-3 タイの投資インセンティブ「業種に基づく恩典」

カテゴリ	法人所得税の免除	機械・原材料の輸入税の免除	税制以外の恩典	業種の例
A1	8年間 (上限額なし)	○	○	ゴミあるいはゴミからの燃料による電力、または電力およびスチームの製造、クリエイティブ製品デザイン・開発サービス、電子設計、研究開発、等
A2	8年間	○	○	天然材料からの有効成分の製造 特殊繊維の製造、高度技術を利用する乗り物の部品の製造、OPE製品の製造、薬品の有効成分の製造、鉄道貨物輸送、等
A3	5年間	○	○	バイオ肥料・有機肥料・ナノ有機化学肥料およびバイオ除草剤・殺虫剤の製造、最新技術を使用した食品の製造・保存、飲料・食品添加物または食品調合物の製造、乗り物用エンジンの製造、環境保護工業団地または工業地区、等
A4	3年間	○	○	農業の副産物あるいは残りくずからの製品の製造、リサイクル繊維、熱処理、機械組み立ておよび(または)その部品の組み立て、衛生紙からの製品の製造、等
B1	×	○	○	乾燥植物およびサイロ、冷蔵・冷凍倉庫、または冷蔵・冷凍倉庫および冷蔵・冷凍運輸、鉱物試掘探鉱、ガラス製品の製造、セラミック製品の製造、サングラスレンズ、美容用コンタクトレンズ、眼鏡フレームおよびその部品の製造、等
B2	×	○	○	耐火材および断熱材の製造(軽量ブロックを除く)、石膏または石膏製品の製造、コイルセンター、Eコマース、貿易ならびに投資支援事務所(TISO)、等

(出所)BOIより作成

図表 3-4 タイの農業・農産品の分野の奨励業種と該当する恩典

業種	恩典
1.1 バイオ肥料、有機肥料、ナノ有機化学肥料、バイオ除草剤・殺虫剤	A3
1.2 植物または動物の品種改良(バイオテクノロジー事業の範囲外の場合)	A3
1.3 商用材木の植林(ユーカリを除く)	A1
1.4 乾燥植物およびサイロ	B1
1.5 動物の繁殖または飼育	A4
1.6 屠殺	A4
1.7 深海漁業	A3
1.8 植物、野菜、果物、花の品質選別、包装、保存	A2、A3
1.9 加工澱粉または特殊な植物からの製粉	A3
1.10 植物または動物からの油脂の製造(大豆からの油を除く)	A3
1.11 天然エキスの製造または天然エキスからの製品の製造(薬品、石鹼、シャンプー、歯磨き粉、化粧品を除く)	A4
1.12 天然材料からの有効成分の製造	A2
1.13 皮革なめし、皮革仕上げ	A3
1.14 天然ゴムから製品の製造(輪ゴム、風船、ゴムリングを除く)	A2、A4
1.15 農業の副産物あるいは残り屑からの製品の製造(加熱乾燥や天日干しなど生産工程が単純なものを除く)	A4
1.16 農産品からの燃料の製造(農産品のスクラップ、ゴミ、廃棄物を含む)	A2、A3
1.17 最新技術を使用した食品の製造・保存、飲料、食品添加物、または食品調合物の製造	A3
1.18 医療食品または栄養補助食品の製造	A2
1.19 冷蔵・冷凍倉庫、または冷蔵・冷凍倉庫および冷蔵・冷凍運輸	B1
1.20 農産物取引センター	A3

(出所)BOI より作成

## 2. インドとタイの工業団地・サイエンスパークの違い

### 1) 概要

「投資インセンティブ」等の制度以外の違いとして、現場となる工業団地・サイエンスパークの作り自体もインドとタイとでは大きな違いがある。

インドの場合は、食品セクターの関連当事者をメガフードパーク内に集積させ、中央加工施設(CPC)には入居企業間で共用できる施設が用意されている。これは、メガフードパークのコンセプト自体がそのような共用による効率化の向上があるためであり、また政府もメガフードパークを計画・開発・運営する特別目的事業体(Special Purpose Vehicle:SPV)に対して設備などの投資に補助金を付与しているからでもある。具体的な政府からの補助金は、土地代を除くプロジェクト費用の50%(一部北東地域の設置が困難な丘陵地帯は75%)、上限5億ルピー(約8.5億円)となっている。

タイ政府も産業クラスターの形成を重視しており、その一環として「クラスター型特別経済開発区(SEZ)政策」を実施しているが、インドとは異なり、食品セクターでは研究開発や食品ラボ等の事業展開をターゲットとしている。

### 2) タイの「フードイノポリス(Food Innopolis)」

タイでは、投資インセンティブとして「業種に基づく恩典」と「メリットによる追加恩典」の2つに大きく分けられるが、この他に、産業クラスターの形成を重視した「クラスター型特別経済開発区(SEZ)政策」も実施している。

「フードイノポリス(Food Innopolis)」は、食品ラボや研究開発(R&D)を含む事業を展開する企業をターゲットとした研究団地のことで、クラスターの中でも特に恩典の厚い「スーパークラスター」に指定されている。

フードイノポリスに立地する企業は、税制上の恩典として、BOIによる8年間の法人所得税の免除と、それに加えて5年間の法人所得税の減税(50%)、機械の輸入税免除が受けられる。または、タイ財務省(MOF)による恩典として、特に重要性が高いと認められた次世代産業には、R&Dにかかった費用の300%までを控除可能である(売上高に対する上限はある)。注意すべきはBOIとMOFの両方から恩典を受けることはできないことだが、いずれの恩典も、タイ国の食品セクターの「生産力」よりも「開発力」を促進させることを企図したものである。

フードイノポリスへのヒアリング(2017年1月)によると、R&D費用の適用範囲については明確なガイドラインは出ていないとのことだった。このため、損金算入の適用可能範囲(R&Dにかかる消耗品、研究者の人件費等)によっては、BOIとMOFのいずれの恩典が魅力的かは異なってくると予想される。当該制度を活用するにあたっては、特に税務面での確認が必須となろう。

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
1	Patanjali Food & Herbal Park Pvt. Ltd.	ウッタラカンド州	Haridwar	Village Padartha, Laksar Road	ハリドワールから約20km ルールギーから約40km メーラトから約140km デリーから約220km	90エーカー	38エーカー	95.08	2008/12/16	2009/3/30	50	50	97.38	完了 2010/1/5開発開始	<a href="http://pfhpl.com/">http://pfhpl.com/</a>
2	Srini Food Park Pvt. Ltd.	アンドラ・プラデシュ州	Chittoor	Mogili Village, Bangarupalem Mandal	ベンガルールから約150km チェンナイから約190km ティルパティ空港から約120km	147エーカー	35エーカー	121.10	2008/12/16	2009/3/30	50	49.92	122.68	完了 2012/7/9開発開始	<a href="http://www.srinifoodpark.com/">http://www.srinifoodpark.com/</a>
3	Integrated Food Park Pvt. Ltd.	カルナタカ州	Tumkur	KIADB Phase 3, Vasanthanarapura Industrial Area, Korahavali	ベンガルールから約70km	110エーカー	57エーカー	144.33	2010/8/3	2011/3/27	50	48.22	159.82	完了 2014/9/24開発開始	<a href="http://www.indiafoodpark.co.in/contact_details.html">http://www.indiafoodpark.co.in/contact_details.html</a>
4	International Mega Food Park Ltd.	パンジャブ州	Fazilka	Village Dabwala Kalan	チャンディガル、ルディアナから約200km デリーから約380km	56エーカー	26エーカー	130.38	2010/8/3	2011/5/25	50	45	137.33	2014/12/13開発開始	<a href="http://www.imfpl.com/">http://www.imfpl.com/</a>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
5	North East Mega Food Park Ltd.	アッサム州	Nalbari	Nathkuchi village, Tihu	グワハティから約90km グワハティ空港から約70km 最寄り鉄道駅Tihuから3km 国道NH-31と直結	58.41エーカー	28エーカー	80.85	2008/12/16	2009/3/27	50	45	69.58	2015/5/28開発開始	<a href="http://www.nefoodpark.com/tender.php">http://www.nefoodpark.com/tender.php</a>
6	Indus Mega Food Park Pvt. Ltd., Khargoan	マディヤ・プラデシュ州	Khargone	Panwa Village, Kasrawad Tehsil	インドールから約90km アーメダバードから約400km 国道NH-3から3km 州道38号から1km	53.78エーカー	24エーカー	131.28	2011/10/10	2012/8/27	50	45	127.59	2016/2/12開発開始	<a href="http://indusmfp.com/">http://indusmfp.com/</a>
7	Jharkhand Mega Food Park Pvt. Ltd.	ジャールカンド州	Ranchi	Village Getalsud Road No.7, Hawaii Nagar, Hatia	ラーンチから約32 km、空港からは37km コルカタから約500km 国道NH33から18km	56エーカー以上	29エーカー	114.74	2008/12/16	2009/3/27	50	43.78	108.32	2016/2/15開発開始	<a href="http://jmfpl.com/">http://jmfpl.com/</a>
8	Jangipur Bengal Mega Food Park Ltd.	西ベンガル州	Murshidabad	Mouza: Katnai & Kulori, Raghunathganj 1 Block, Subdivision Jangipur	コルカタから約250km ※バングラデシュ国境に隣接	82.11エーカー	46エーカー	132.70	2008/12/16	2010/3/16	50	45	160.86	2016/3/31開発開始	<a href="http://jangipurmegafoodpark.com/">http://jangipurmegafoodpark.com/</a>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
9	Andhra Pradesh Industrial Infrastructure Corporation (APIIC)	アンドラ・プラデシュ州	Krishna	Thotapalli, Agripalli Mandal	ヴァンジャカパトナム港から約350km	約100エーカー	17エーカー	184.88	2015/3/31	2015/12/31	50	未(2016年11月30日時点)		補助金等申請手続き中	<a href="http://www.apiic.in/">http://www.apiic.in/</a>
10	Godavari Mega Aqua Park Pvt. Ltd.	アンドラ・プラデシュ州	West Godavari	Tundurru Village, Bhimavaram Mandal	同州カキナダ港から約110 km 国道NH-214まで2km、州道SH-7まで10km	55.65エーカー	22エーカー	122.60	2012/9/21	2013/12/16	50	15	24.36	補助金等申請手続き中	<a href="http://godavariaqua.com/">http://godavariaqua.com/</a>
11	Mums Mega Food Park Pvt. Ltd.	ビハール州	Nawanagar	Buxar	コルカタから約640km ※ネパール国境から約300km	不明	23.59エーカー	141.26	2015/3/31	2016/8/2	50	未(2016年11月30日時点)	不明	コーポレートサイトなし <a href="http://corporatedir.com/company/mums-mega-food-park-private-limited">http://corporatedir.com/company/mums-mega-food-park-private-limited</a>	
12	Pristine Mega Food Park Pvt. Ltd.	ビハール州	Khagaria	Mansi	パトナ空港から約174km ビハール州内への鉄道・道路接続が 便利な立地	70エーカー	39エーカー	127.64	2012/9/21	2014/8/6	50	14.12	24.92	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.pristinemeгаfoodpark.com/">http://www.pristinemeгаfoodpark.com/</a>
13	JVL Mega food Park Pvt. Ltd.	ビハール州	Rohtas	Village Jorabarpur	バラナシから約150km パトナから約160km	85エーカー		117.21	2013/12/19	2015/8/10	50	未(2016年11月30日時点)	補助金等申請手続き中	<a href="http://jvlmegafoodpark.yolasite.com/">http://jvlmegafoodpark.yolasite.com/</a> <a href="http://pib.nic.in/newsite/PrintRelease.aspx?relid=126059">http://pib.nic.in/newsite/PrintRelease.aspx?relid=126059</a>	
14	Indus Best Mega Food Park Pvt. Ltd., Raipur	チャットティースガル州	Raipur	Village Sarora and Bemta, Tehsil Tilda	ヴァンジャカパトナム港から555 km	70エーカー強	32エーカー	124.50	2012/9/6	2014/6/4	50	未(2016年11月30日時点)	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.projecttoday.com/News/Chhattisgarh-to-get-new-mega-food-park">http://www.projecttoday.com/News/Chhattisgarh-to-get-new-mega-food-park</a> <a href="http://indusmfp.com/">http://indusmfp.com/</a>	



S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
15	Gujarat Agro Infrastructure Mega Food Park Pvt. Ltd.	グジャラート州	Surat	Villages Jhahkharda, Shah and Vasravi in ITDP notified area in Mangrol Taluka	スーラトから約50km Hazira LNG & Port(港)から約85km バドダラから約130km アーメダバードから約250 km ムンバイから約320km	不明	38エーカー	117.87	2012/9/21	2014/5/22	50	14.19	35.55	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.gujaratmegafoodpark.com/">http://www.gujaratmegafoodpark.com/</a>
16	Haryana State Industrial & Infrastructure Development Corporation Limited (HSIIDC)	ハリヤナ州	Sonipat	Industrial Area, Barhi	インディラガンジー空港から約52km 国道Delhi-Ambala線沿い	75エーカー	44.34エーカー	177.59	2015/3/31	2015/6/11	50	未(2016年11月30日時点)		補助金等申請手続き中	<a href="http://hsiidc.org.in/">http://hsiidc.org.in/</a>
17	Cremica Food Park Pvt. Ltd.	ヒマチャルプラデシュ州	Una	Village Singha, Tehsil Haroli	ルディアナから約130km シムラーから約185km	不明	26エーカー	99.70	2012/9/21	2014/8/6	50	14.01	21.64	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.cremicafoodpark.com">http://www.cremicafoodpark.com</a> ※コーポレートサイト、工事中 <a href="https://www.linkedin.com/company/cremica-food-park-pvt-ltd">https://www.linkedin.com/company/cremica-food-park-pvt-ltd</a> <a href="http://www.cremica.com/aboutus/">http://www.cremica.com/aboutus/</a>
18	RFK Greens Food Park Pvt. Ltd.	ジャンムー&カシミール州	Pulwama	Lassipora village	スリナガル空港から約30km ルディアナから約520km	50エーカー	17.5エーカー	79.43	2012/9/21	2014/2/19	50	5	13.02	補助金等申請手続き中	コーポレートサイトなし <a href="http://jknewspoint.com/9-years-on-food-park-in-jk-still-a-pipe-dream/">http://jknewspoint.com/9-years-on-food-park-in-jk-still-a-pipe-dream/</a>
19	Kerala State Industrial Development Corporation Limited (KSIDC)	ケララ州	Alappuzha	Pallipuram, Cherthala	コチ空港から約70km コチ港から約30km	65エーカー	46.6エーカー	129.15	2015/3/31	2015/11/27	50	10	11.94	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.ksidc.org/">http://www.ksidc.org/</a>
20	Kerala Industrial Infrastructure Development Corporation (KINFRA)	ケララ州	Palakkad	Elappully	コインバートルから約40km コチ空港から約140 km コチ港から約160km	163.58エーカー	49.62エーカー	119.02	2015/3/31	2015/11/27	50	15	18.18	補助金等申請手続き中	<a href="http://kinfra.org/">http://kinfra.org/</a>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
21	Avantee Mega Food Park Pvt. Ltd. (formerly Ruchi Acroni Industries Ltd.)	マディヤ・プラデシュ州	Dewas	Village Binjana	インドール空港から約45km	51エーカー	25.47エーカー	144.12	2015/3/31	2015/12/31	50	15	35.8	補助金等申請手続き中	<a href="http://avanteefoodpark.com/">http://avanteefoodpark.com/</a>
22	Wardha Mega Food Park Pvt. Ltd.	マハラシュトラ州	Wardha	Village Sindhivihri, Tehsil Karanja (G)	ナグプールから約75km	不明	28.7エーカー	92.36	2015/3/31	2016/1/13	50	未(2016年11月30日時点)		補助金等申請手続き中	<a href="https://www.zaubacorp.com/company/WARDHA-MEGA-FOOD-PARK-PRIVATE-LIMITED/U93030MH2011PTC224346">https://www.zaubacorp.com/company/WARDHA-MEGA-FOOD-PARK-PRIVATE-LIMITED/U93030MH2011PTC224346</a> <a href="http://hospibuz.com/iajn-agro-trading-company/">http://hospibuz.com/iajn-agro-trading-company/</a> <a href="https://business.indiafilings.com/iajn-agro-trading-company-private-limited">https://business.indiafilings.com/iajn-agro-trading-company-private-limited</a>
23	Paithan Mega Food Park Ltd.	マハラシュトラ州	Aurangabad	Village Wahegaon and Dhangaon, Taluka: Paithan	オーランガバードから約35km オーランガバード空港から約50km ムンバイ・ムンバイ港から約350km	110エーカー	70エーカー	124.56	2011/4/1	2013/3/8	50	23.77	54.71	補助金等申請手続き中	<a href="http://paithanmegafoodpark.com/">http://paithanmegafoodpark.com/</a>
24	Satara Mega Food Park Pvt. Ltd.	マハラシュトラ州	Satara	Degaon village	鉄道ブネーサタラーコルハプール線・サタラ駅から9km 国道NH-4隣接 ブネ空港から124km コルハプール空港から125km ムンバイ・ムンバイ港から約250km	66.84エーカー	34エーカー	139.33	2012/9/21	2014/8/6	50	29.5	82.98	補助金等申請手続き中	<a href="http://satarafoodpark.com/smfppl-at-glance/">http://satarafoodpark.com/smfppl-at-glance/</a>
25	Satara Mega Food Park Pvt. Ltd.	ミゾラム州	Aizawl	Khamrang	グワハティから約450km	55エーカー強	23エーカー	75.20	2013/12/19	2015/6/10	50	15	17.47	補助金等申請手続き中	<a href="http://zorammegafood.org/">http://zorammegafood.org/</a>
26	Odisha Industrial Infrastructure Development Corporation (IDCO)	オディシャ州	Khurda	Deras	ブバネシュワールから約50km Paradip港(オディシャ州)から約150km	152エーカー	88.78エーカー	134.13	2015/3/31	2015/11/6	50	15	31.29	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.idco.in/2009/">http://www.idco.in/2009/</a>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
27	MIT'S Mega Food Park Ltd.	オディシャ州	Rayagada	Bhujbul and Sindhubadi Mouza	ヴィシヤカバトナム空港から約200km ブパネシュワルから約400km	100エーカー	26エーカー	80.17	2011/4/29	2012/4/16	50	30	31.22	補助金等申請手続き中	<a href="https://mitsmegafoodpark.com/">https://mitsmegafoodpark.com/</a>
28	Punjab Agro Industries Corporation Ltd. (PAIC), Ludhiana	パンジャブ州	Ludhiana	Ladhowal	ルディアナから12km チャンディガル空港から約130km	100エーカー	53.05エーカー	117.61	2015/3/31	2015/11/27	50	15	14.11	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.punjabagro.gov.in/">http://www.punjabagro.gov.in/</a> <a href="http://www.punjabagro.gov.in/mfp.html">http://www.punjabagro.gov.in/mfp.html</a>
29	Sukhjit Mega food Park & Infra Ltd (The Sukhjit Starch & Chemical Limited)	パンジャブ州	Kapurthala	Village Rehana Jattan	ルディアナから55km チャンディガル空港から約150km	55エーカー	26.17エーカー	123.72	2015/3/31	2015/11/6	50	未(2016年11月30日時点)		補助金等申請手続き中	<a href="http://www.sukhjitgroup.com/">http://www.sukhjitgroup.com/</a> <a href="http://www.sukhjitgroup.com/pdf/Sukhjit-April-Press-release.pdf">http://www.sukhjitgroup.com/pdf/Sukhjit-April-Press-release.pdf</a>
30	Greentech Mega Food Park Pvt. Ltd.	ラジャスタン州	Ajmer	Village Rupangarh	ジャイプールから約130km デリーから約370km	75.74エーカー	40エーカー	113.57	2012/9/21	2014/2/19	50	14.85	39.22	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.gtmfp.in/">http://www.gtmfp.in/</a>
31	Telangana State Industrial Infrastructure Corporation (TSIIC)	テランガナ州	Khammam	Buggapadu Village	ヴィジャヤワダから約100km カキナダ港から約190km	不明	26.66エーカー	109.44	2015/3/31	2016/2/5	50	未(2016年11月30日時点)		補助金等申請手続き中	<a href="http://tsiic.telangana.gov.in/">http://tsiic.telangana.gov.in/</a>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	実施地域			主要都市からの距離	総エリア面積等	リース可能面積	プロジェクト費用(千万ルピー)	基本承認日	最終承認日	補助金額(千万ルピー)			ステータス	URL
		州	ディストリクト	立地場所詳細							承認補助金額	リリースされた補助金額	実際の支出額		
32	Raaga Mayuri Agro Vet Pvt. Ltd.	テランガナ州	Mahabubnagar	Itikiyal	ハイデラバードから約240km	119.5エーカー	61.42エーカー	124.15	2015/3/31	2015/12/31	50	10	15.69	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.raagamayurimegafoodpark.com">www.raagamayurimegafoodpark.com</a>
33	Smart Agro Food Park Pvt. Ltd.	テランガナ州	Nizamabad	Village Lakkampally, Nandipet Mandal	ハイデラバードから約200km	土地: 370エーカー	32エーカー	108.95	2013/12/19	2015/6/10	50	5	14.36	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.smartagrofoodpark.com/">http://www.smartagrofoodpark.com/</a>
34	Sikaria Mega Food Park Pvt. Ltd.	トリプラ州	West Tripura	Champamura & Tulakona Mouza	Agartala国際空港から約30km Ashuganj(バングラデシュ)から約50km ※バングラデシュとの国境近くに位置	50エーカー	17エーカー	87.45	2011/4/29	2011/11/30	50	28.5	48.3	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.tripuramegafoodpark.com/">http://www.tripuramegafoodpark.com/</a>
35	Himalayan Food Park Pvt. Ltd.	ウッタラカンド州	Udham Singh Nagar	Mauha Kheraganj Village, Kashipur	メーラトから約170km デリーから約250km	50エーカー	30エーカー	99.96	2012/9/21	2014/1/23	50	29.79	51.18	補助金等申請手続き中	<a href="http://www.himalayanfoodpark.com/">http://www.himalayanfoodpark.com/</a>
36	Adani Ports and Special Economic Zone Ltd.	グジャラート州	Kutch	Mundra	アーメダバードから約2km	15,946.32エーカー	不明	168.60	2015/3/31	未(2016年8月末1日時点)				最終承認待ち	サイト開かず <a href="http://www.adaniports.com/">http://www.adaniports.com/</a> <a href="http://www.hindustantimes.com/business/adani-others-bag-rs-6-000-cr-project-to-develop-food-parks/story-SsNHfNYWBryT1FqylSb1OJ.html">http://www.hindustantimes.com/business/adani-others-bag-rs-6-000-cr-project-to-develop-food-parks/story-SsNHfNYWBryT1FqylSb1OJ.html</a>
37	Continental Warehousing Pvt. Ltd.(NhavaSeva)	ハリヤナ州	Panipat	Panipat Village Jhatipur, Tehsil Samalakhia	インディラガンジー空港から約100km	53エーカー	不明	157.46	2015/11/30	未(2016年8月末1日時点)				最終承認待ち	<a href="http://www.cwcnsl.com/">http://www.cwcnsl.com/</a> <a href="http://ifcext.ifc.org/IFCExt%5Cspiwebsit-e1.nsf%5C0%5C721E24A06A8C2B4885257F0E0071DFBD">http://ifcext.ifc.org/IFCExt%5Cspiwebsit-e1.nsf%5C0%5C721E24A06A8C2B4885257F0E0071DFBD</a> <a href="http://haryananevswire.blogspot.jp/2015/03/centres-clears-two-mega-food-parks.html">http://haryananevswire.blogspot.jp/2015/03/centres-clears-two-mega-food-parks.html</a>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
1	Patanjali Food & Herbal Park Pvt. Ltd.	TEL: +91-18001804108 E-mail: feedback@patanjaliayurved.org  担当者1: Mr. Dhan Veer E-mail: dhanveer@patanjaliayurved.org  担当者2: Mr. Sh. Ravindra Kumar Chaudhary (Chief Executive Officer) Plot No: D-38, Industrial Area, Haridwar - 249401 Mobile: +91-9760076644 E-mail: ceo@pfhnppl.com, ravindrakch@gmail.com	<ul style="list-style-type: none"> <li>当SPVは、アーユルヴェーダ・ヨガを通じたヘルスケア・ウェルネス関係のパタンジャリグループが主催し組織。主要立案者及び投資家であるBaba Ramdev氏は著名なヨガ指導者、Acharya Balkrishan氏は、アーユルヴェーダの国際的なオーソリティであり、当SPVを率いるPatanjali Ayurved Ltd.の創業者でもある。</li> <li>中央加工施設の他、Laltappar - Dehradoun, Daudpur Haji, Budhana, Devprayag, Kotdwar, Bazpurの5か所に一次加工施設を設置。</li> <li>パークでは、食品加工の他、植物由来原料によるシャンプー、石鹸、洗剤といったホームケア製品、バイオガスも製造、</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 倉庫: 5,000トン(2,500トンX2) サイロ: 3,000トン 冷凍倉庫: 5,000トン 選別ライン 品質管理ラボ リーファーバン: 8トンX1台+4トンX2台 その他パレット、スタッカー、計量器など インフラ設備として33kVAの電力供給、飲料水を含む水供給、電話回線等IT設備、駐車場、セキュリティ設備を備える。 その他食堂、宿泊・滞在施設、レクリエーション施設も設置  <b>【一次加工施設】</b> 選別・洗浄等を行うラインの他、倉庫(4か所)、冷蔵倉庫(3か所)、急速冷凍設備(IQF)(1か所)などを備える	果物、野菜、穀類等
2	Srini Food Park Pvt. Ltd.	登録オフィス: Plot NO. 488 & 489, 3rd Floor, Ganesh Tower, Ayyappa Society, Madhapur, Hyderabad - 500081 Mobile: +91-8008400162 E-mail: info@srinifoodpark.com, marketing@srinifoodpark.com  担当者: Mr. Shri Raveendra Nalluri (Executive Director) Mobile: 09989193337 E-mail: malluri@srinifoodpark.com	<ul style="list-style-type: none"> <li>当SPVは食品だけでなく、流通、ITも含む様々な分野から構成される。</li> <li>国内最初のメガフードパークとして稼働済み。農家から収穫された農産物の選別、洗浄、パッキングの他、食品加工、貯蔵(冷凍・冷蔵含む)までの食糧産業クラスターを構築。</li> <li>中央加工施設では、主に果実加工を実施。敷地内に食品企業専用の工場用地を保有、電力・浄水の供給や排水処理、保安、各種手続き支援等のサービスを提供。中央加工施設のレンタルのほか、事務所スペース、倉庫等のレンタル機能も持つ。</li> <li>中央加工施設の他、AP州内に4カ所(Nuzvid, Tirupati, Madanapalle, Mogilli)に農産物の一次加工施設をもつ。さらに個人農業従事者の自助グループにより、14の農産物集積センターが運営され、競争力の高い価格にて農産物の売買が可能。</li> <li>そのほか、特定農家との契約栽培のあっせんも実施。</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 製造: パルピング設備(無菌処理10トン/hr、濃縮6トン/hr)、IQF(個別急速冷凍設備-1トン/hr)ボトリングおよびテトラパック詰め設備、テストラボ等。パルピング設備は無菌処理10トン/時間、濃縮6トン/時間のキャパシティー。 貯蔵等: 熟成室(2,200トン)、常温倉庫(10万平方フィート)、冷蔵倉庫(600トン)、急速冷凍庫(500トン)等 その他: 水・電力の供給、勤務者のための施設・設備(オフィス、会議室、キャンティーン、銀行、託児所、ショッピング施設、郵便局等)  <b>【一次加工施設(4か所)】</b> 洗浄・選別ライン、熟成室、冷蔵庫、温度湿度制御室	果物: マンゴー、バナナ、オレンジ、グアバ、パイナップル、さくらなど 野菜: オクラ、ナス、ピクルス用キュウリ、豆、グリーンチリ、トマト、ドラムスティックなど
3	Integrated Food Park Pvt. Ltd.	ヘッドオフィス: 3rd Floor, No. 18/1, Ashoka Pillar Rd, Pasadena, 10th Main, Jayanagar, Bangalore - 560011  担当者1: Mr. G.Venkatasubramanyam (Mani), Mobile: +91 9591280374 / +91 9590452525 E-mail: gvs.mani@futureconsumer.in  担当者2: Mr. Shri Monangi Srinivas Rao (CEO) Mobile: 09731615680 E-mail: monangi.rao@futureconsumer.in	<ul style="list-style-type: none"> <li>当SPVはMOFPIと流通大手Future Groupの官民パートナーシップであり、ここで生産される製品は、Future Groupの小売店(Big Bazaar, Food Hall, Big Apple等)で販売される予定。インフラ整備会社もSPVに参画。</li> <li>製品は食品以外に洗剤などのホームケア商品、衛生用品、パーソナルケア商品なども製造し、様々なブランドを生み出している。</li> <li>リースのプロットサイズは1-5エーカー。Ready to Useの設備費用も提示されている(例: マンゴー等のパルピング: kgあたり14ルピー、IQF: 同6ルピー 等)</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> サイロ: 12,000トン 冷凍室: 750トン 急速冷凍設備(IQF): 1トン/hr 冷蔵倉庫: 500トン 予冷凍: 10トン 熟成室: 300トン ソーティング&グレーディング設備: 10トン/hr パルピング・無菌加工設備: 6トン/hr ローラー式製粉機: 150トン/日 蒸気発生ユニット: 4トン/hr その他パッキングハウス、倉庫、テストラボ等  その他設備として、オフィススペース15,000平方フィート、トレーニングセンター、24時間の電力・水供給、ごみ・水処理設備、太陽光発電などの再生エネルギーシステム、セキュリティシステム、なども提供。 店舗、キャンティーン、オフィススペース等、生活支援施設も整備。	米、豆・穀類、サトウキビ、スパイス、乳、野菜、果物、茶、はちみつ、レモン
4	International Mega Food Park Ltd.	TEL: +91-172 - 5037237 E-mail: marketing@imfpl.com  担当者: Mr. ShriSukhinder Singh (Managing Director) H.NO.3, Sector-5, Chandigarh-160 001 Mobile: 09872884406, 09872808818 E-mail: sukhinder.singh@rediffmail.com	<ul style="list-style-type: none"> <li>当SPVは、International Fresh Farm Products (India) Ltd.(農産物生産)を主体とし、立ち上げられた。グループ会社にPunjab Metallic (P) Ltd.(貯水槽、タンクなどのメーカー)、Zenith Food and Nutrients (P) Ltd(飲料メーカー)が含まれており、これら複数企業も参画していると思われる。</li> <li>当SPV自身も食品加工を手掛けており、乳製品、冷凍野菜、加工穀類などを製造販売している。</li> <li>また、当SPVには柑橘系農家を取りまとめる組織であるCitrus Estate Tahlwala Jattaも加わっている模様。</li> <li>リース用産業プロットは準備済み(数等の記載なし)</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 倉庫: 6,000トン 穀物用サイロ: 40,000トン 冷凍庫(マイナス18度): 2,000トン 冷蔵倉庫: 4,000トン 急速冷凍設備(IQF): 2.5トン/hr 選別・ワックスがけ設備: 10トン/hr 最新式ミルク加工プラント: 10万リットル/日 中小企業向け産業シェッド 4メガワットのバイオマス発電、飲料水他上下水道整備、最新式ファイバーケーブル、防火システムなどのインフラも整備  上記の他、バナナ熟成室、製粉設備80トン/日なども整備予定	果物: Kinnow(柑橘類の一種) 野菜: オクラ、ブロッコリー、ニンジン、カリフラワー、グリーンピース、ポテトなど 穀類

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
5	North East Mega Food Park Ltd.	<p>コーポレートオフィス:                      Hotel Brahmputra Ashok, M.G. Road, Guwahati - 781001                      TEL: +91-361-2736293                      E-mail: info@nefoodpark.com</p> <p>担当者: Mr. Shri Ronn Pakrashi (CCO)                      Mobile: 08811096878                      Email: ronn.pakrashi@nefoodpark.com</p>	<p>・当SPVは、アッサム州政府機関であるAssam Industrial Development CorporationならびにAssam Small Industries Development Corporation Limitedと、ヘルスケア企業Ozone Ayurvedics、建設および食品加工企業Rajshekhhar Constructions、食品加工企業Prajakta Technology(サイトに詳細情報なし)の5社が主催。                      ・中核加工施設の他、一次加工場3カ所、農産物集積センター4カ所を展開。                      ・周辺で収穫される農産物の加工だけでなく、冷蔵設備やリーフアーコンテナを用いたコールドチェーンも構築。                      ・リースは20年間、土地代は千平米あたり4,000ルピー、土地開発費は1平米あたり1,500ルピー、これに保証金100ルピー/平米と登録料(最大5,000ルピー)が加算される。支払いは20%申し込み受付時に、残金80%は契約時に支払い。                      土地代は翌年より4月末日までにその年度分を前払いとなる。</p>	<p>【中央加工施設】                      製造: 標準設計工場(SDF)が敷地内0.87エーカーに建築。2階建て各フロアに300平米サイズが2、150平米のサイズが4の計12。テストラボ、品質ラボも設置。                      貯蔵等: 倉庫は計1万トン(4カ所X2,500トン)。コールドチェーン用の予冷库、冷蔵設備(3,000トン)、リーフアトラックなども設備。輸送のためのトラックターミナルも1.69エーカーに整備、最大67台のキャパシティを持つ予定。                      その他: 事務所やトレーニングセンター、キャンティーン、銀行やその他資材販売店などが集積する一般施設、水・電力等のインフラ、廃棄物処理場も備える。</p>	<p>果物: パイナップル、バナナ、オレンジ、レモン、パパイヤ、ジャックフルーツ                      野菜: しょうが、ターメリック、ジャガイモ、トマト等</p>
6	Indus Mega Food Park Pvt. Ltd., Khargoan	<p>ハイデラバードオフィス:                      8-2-603/1/10, 2nd Floor, SreeVenkateshwara NilayamKrishnapuram Road No. 10, Banjara hills, Hyderabad- 500034                      TEL: +91 7747011994                      E-mail: info@indusmfp.com</p> <p>対象者: Mr. Ch. V. NarasimhaRaju (Managing Director)                      Mobile: 09441035555                      E-mail: naresh@vhltd.com, ravi00999@gmail.com, bbadime.indus@gmail.com, mmuralikri@gmail.com, vikasrtk@yahoo.com</p>	<p>・当SPVは、農業系企業Ananda Group(#3 Godavariに登場するグループと同一)傘下のAnanda Aqua Exportsと、農作物用倉庫並びにインフラ整備、再生エネルギー発電などを手掛けるVasistha Holdingsの2社で設立され運営。                      ・自社においても冷凍野菜を中心に、食品加工を手掛ける。                      ・施設内に、350エーカーの契約農業プロットも計画。</p>	<p>【中央加工施設】                      倉庫: 50,000トン                      冷蔵倉庫: 200トン                      冷蔵倉庫: 5,000トン                      成形調理システム: 2トン/hr                      急速冷凍設備(IQF): 2.5トン/hr                      その他ラボ、ショップ等</p> <p>その他、24時間の電力供給(5MW)、25万リットルの給水タンク、排水処理ユニット: 3万リットル/hr、地下上下水道設備などのインフラ整備、パーキング、キャンティーン、トレーニングセンターといった生活支援設備も整備。</p>	<p>ニンジン、ジャガイモ、グリーンピース、トウモロコシなど野菜全般</p>
7	Jharkhand Mega Food Park Pvt. Ltd.	<p>TEL : +91-651-2252122</p> <p>担当者: Mr. Shri Alireza Thaver (Executive Director)                      Mobile: 09930444534, 08796666666                      E-mail: alireza.thaver@jmfpl.com</p>	<p>・当SPVは、運送・流通、ベンチャーキャピタルなどの複数企業の連合で運用。                      ・ジャールカンド州初のメガフードパークとして、中央施設の他、一次加工施設をLohardaga, Hazaribagh, Gumla, Belchampa, Domchach, Patratuの6カ所に設置予定。                      ・中央加工施設のクラスターをFood &amp; Vegetables(果物・野菜の加工・ジュース、カット野菜・フルーツ、ソース類、Spices(ピクルス含む)、Grain based(粉の精製およびベーカリー)の3つに分ける構想 ※2012年8月発表</p> <p>・プロセッシングユニット数: 32(0.33~6エーカー)                      ※2012年8月発表</p>	<p>【中央加工施設】                      冷蔵倉庫: 4,500トン                      倉庫: 6,268トン                      熟成室: 240トン                      予冷库: 60トン                      急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr                      その他脱水ライン、テストラボ等と、野菜・果物加工のためのサプライチェーン・加工設備、水・電力・環境保護システムなどのインフラ設備 等</p>	<p>野菜、果物、穀類</p>
8	Jangipur Bengal Mega Food Park Ltd.	<p>登録オフィス:                      Collegepara, Aurangabad, Murshidabad - 742201</p> <p>担当者: Mr. Shri Amirul Islam (MD)                      DB - 67, Sector - 1, Salt Lake City, Kolkata - 700064                      Mobile: 08017516550                      E-mail: amirul@jangipurmegafoodpark.com, info@jangimegafoodpark.com</p>	<p>・当SPVは、西ベンガル州政府企業であるWest Bengal State Food Processing and Horticulture Dev. Corpおよびヘルスケア関連企業Shiv Biri Manufacturing、たばこメーカーJahangir Biri Factory、インフラ整備会社IFCI Infrastructure Development等、計6社で組織。</p>	<p>【中央加工施設】                      倉庫: 8,000トン/5,000トン                      急速冷凍庫: 3,000トン                      ジャガイモ用冷蔵庫: 10,000トン                      急速冷凍(IQF)&amp;パッキング設備: 1.5トン/hr</p>	<p>果物: マンゴー、バナナ、ライチ、グアバ、パパイヤ                      野菜: トマト、キャベツ、カリフラワー、レディフィングアー、ポテト                      穀類: 米、小麦、搾油用豆類</p>

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
9	Andhra Pradesh Industrial Infrastructure Corporation (APIIC)	登録オフィス: 4th Floor, Parisrama Bhavan, Fateh Maidan Road, Basheerbagh, Hyderabad – 500 004 TEL: +91-40-23237622, 23237623	・APIICは、アンドラ・プラデシュ州の産業・経済振興のため、工場・インフラ設備の提供や金融面でのサポートを行うために1973年に設立した政府系企業体。様々なSEZ、インダストリアルパークのプロジェクトを実施。 ・当フードパーク建設は、州の産業・経済振興の一つとして行われている。	【中央加工施設】 選別・パッキングゾーン: 1トン/hr 冷蔵倉庫: 3,000トン パルピングおよび無菌処理(熟成室付): 6 MT/hr	記載なし 農産物中心(提供設備から推測)
10	Godavari Mega Aqua Park Pvt. Ltd.	情報なし	・当SPVはインド初のアクアフードパークとして、魚(淡水魚)、エビ養殖会社が主体となって主業。 ・魚・エビ加工の他、中小企業向けプロット貸し出し(30か所)、輸出も含めた販売サポート、セミナー・ワークショップの開催・運営も行う。 ・親会社であるAnanda GroupはAP州にて精米業からスタートし、養鶏、エビ・魚の養殖を手掛ける。特に稚魚・稚エビの育成は早くから手掛けており、1993年にインド初の商業稚エビの育成を手掛けたとして国際カンファレンスで紹介されたこともある。	【中央加工施設】 一次加工設備(選別、洗浄、カット加工等): 1.5トン/hr 急速冷凍設備(Block & IQF): Block-1.5トン/hr, IQF-3トン/hr 冷蔵倉庫: 3,000トン(魚用2,000トン+エビ用1,000トン) ブロックアイスプラント: 25トン/日 アクアポニックス設備 微生物ラボ リーファートラック: 2 断熱トラック: 8 トレーラー: 2  その他設備として、貯水槽(30万リットルのオーバーヘッドタンク付)、水処理システム、電力供給(5MW)およびバックアップ用ディーゼル発電機、計量器、駐車場及び道路照明といったインフラ関連、管理ブロック、トレーニングセンター、キャンティーン、勤務者用寮・託児所、健康センター、銀行、消防・レスキュー等の生活補助関連施設も完備	エビ(バナメイ、ブラックノシータイガー、スカンピ、淡水魚(ティラピア、バス等) 加工食品は、burger/cutlets, balls, pickles, fingers/Samosaなど、主に冷凍加工品。
11	Mums Mega Food Park Pvt. Ltd.	登録オフィス: 307, Nipun Tower, Karkadoma Community Centre, Delhi – 110092 TEL: 0120-4198301  担当者: Mr. Shivpriya (Director) Mobile: 9811502155 E-mail: ceo@amrapalibiotech.com	不明	【中央加工施設】 原料用倉庫: 12,500トン 完成品用倉庫: 12,500トン 冷蔵倉庫: 2,000トン 冷凍庫: 500トン 急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr パッキングハウス(選別、洗浄等): 2トン/hr 熟成室: 120トン CA/MA Chamber: 250トン 品質管理・テストラボ その他運用・製造サポート機械・器具	記載なし 農産物中心(提供設備から推測)
12	Pristine Mega Food Park Pvt. Ltd.	登録オフィス: Third Floor, Wing-B, Commercial Plaza, Radisson Hotel Delhi, National Highway No. 8, Mahipalpur, New Delhi-110037 TEL: +91-11-47235800, 46772223, 24, 27 Mobile: 08826692838, 9871772926 E-mail: amitpandey@pristinemegafoodpark.com, anand.jha@pristinemegafoodpark.com	・当SPVは3人の異なる鉄道系ロジスティクス分野で活躍した起業家により立ち上げられた。 ・中核加工施設、一次加工施設10カ所、農産物集積センター40カ所により構成。鉄道分野に強いこともあり、ロジスティクスパーク、コンテナデポの他、駅に直結したドライポートも設備。 ・当該地および周辺の農作物全般を対象に、農作物の仕入れから製品の搬送の手前までを一貫して行う。	【中央加工施設】 倉庫: 40,000トン 穀物サイロ: 10,000トン(4X2,500トン) 冷蔵倉庫: 5,000トン、ジャガイモ用4,000トン、その他1,000トン パッキングハウス: 10トン/hr 急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr 急速冷凍庫: 1,500トン テストラボ リーファーパーン: 30トン(3X10トン)  【一次加工施設】 倉庫、冷蔵設備、熟成室等	農作物全般 このパークの位置するMansilはトウモロコシ、果物、野菜、酪農、養蜂などが非常に盛んであり、特にトウモロコシの生産は盛んで、農地の62.2%を占める。
13	JVL Mega food Park Pvt. Ltd.	登録オフィス: JVL Agro Industries Ltd. Jhunjhunwala Bhavan, Natilmi, Varanasi – 221001 (U.P.) TEL: +91-542-2595930-32  担当者: Mr. Shri Adarsh Jhunjhunwala (Director) Mobile: 09794733000, 09820339501 E-mail: adarshjhunjhunwala@jvlagro.com, adarsh@jhoola.com	詳細不明(サイトに情報なし)	【中央加工施設】 倉庫: 4,000トン(原材料用、完成品用各2,000トン) 穀物サイロ: 15,000トン(3X5,000トン) 急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr 冷蔵庫: 1,500トン 冷凍庫: 500トン 急速冷凍庫: 500トン 品質管理・テストラボ リーファーパーン ボイラー: 16トン/hr	記載なし 農産物中心(提供設備から推測)
14	Indus Best Mega Food Park Pvt. Ltd., Raipur	登録オフィス: C-11, Rajouri Garden, Ring Road, New Delhi-110027 TEL: +91-11-47634437/47634400  担当者: Mr. ShriVikas Singh Hooda Mobile: 9350455555(Vikas Singh Hooda), 09729870010(Tarun BatraJi) Email: vikasrkt@yahoo.com	詳細不明(サイトに情報なし)	【中央加工施設】 倉庫: 1,200トン 冷蔵設備: 3,000トン(3X1,000トン) 急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr 前処理、パッキング、急速冷凍設備: 1,000トン(2X200トン、2X300トン) CA/MA貯蔵庫: 1,600トン(3X400トン+2X200トン) パッキングハウス(洗浄、選別、パッケージング等): 20トン/hr テスト・開発ラボ 蒸気発生用ボイラ: 8トン/hr 無菌パルピング・パッキングライン: 6トン/hr リーファーパーン: 6X6トン、1台250万ルピー その他フォークリフト、クレートなど運搬に使用するツール	記載なし 農産物中心(提供設備から推測)

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
15	Gujarat Agro Infrastructure Mega Food Park Pvt. Ltd.	Vadodaraオフィス: 1 Bira – Venus Apartments, Productivity Road, Alkapuri, Vadodara – 390 007 Tel: +91-265-2339401 E-mail: info@gujaratmegafoodpark.com	<ul style="list-style-type: none"> <li>当SPVは、食用油メーカーAdani Wilmer、食品加工企業Jindal Agro Processing、インフラ整備企業Urjaグループおよび、Mafatlal Siroya(農家代表)、Manu Srivastava(コンサルタント)により立ち上げられた。</li> <li>農家～食品加工、そしてインフラおよび全体コンサルといった様々な専門家が集結することにより、総合的なフードバリューチェーンの実現が可能となる、としている。</li> <li>一次加工施設はPadra, Jagadia, Bartad, Nana Pondaの4か所</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 冷蔵設備: 3,500トン(一般2,000トン+0度以下1,500トン) 倉庫: 5,000トン 急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr バルピング施設(冷凍): 1トン/hr テストラボ リーフアーバン: 4台 その他普通自動車  <b>【一次加工施設】</b> 予冷库、選別ライン、パッキング設備等 Padraには2,000トンの冷凍庫/Jagadiaには5,000トンの倉庫あり	当クラスター内で収穫される農産物全般 果物: マンゴー、バナナ、パパイヤ、グアバ等(州全体の66%の生産量) サトウキビ: 同94% 野菜: オクラ、トマト、カリフラワー、インゲン、トウモロコシ等(同21%) 豆類: トウールダル、ウラダダル等(同37%) 乳: (同20%)
16	Haryana State Industrial & Infrastructure Development Corporation Limited (HSIIDC)	登録オフィス: Plot No: C-13-14, Sector 6, Panchkula-134109 TEL: +91-172-2590481, +91-172-2590482, +91-172-2590483 E-mail: info@hsiidc.org.in	<ul style="list-style-type: none"> <li>HSIIDCは、ハリヤナ州の産業インフラ開発のため、1956年に設立した100%政府系企業体。多方面にわたるインフラ開発を実施、日本政府も関係するDMIC(デリームンバイ間大動脈構想)にも携わっている。</li> <li>当メガフードパークはHSIIDCにとって3か所目であり、SonipatのRai, AmbalaのSahaに続くプロジェクト。</li> <li>2016年10月現在、PhaseIIIのリース募集中。</li> </ul> 「PhaseIIIのリース募集内容(締切: 2016/10/26)」 価格: 1平米あたり121,000ルピー、450平米(6プロット)～4,300平米(4プロット)まで計28プロットが対象。 リース期間は33年間。10年間リース費用(年間2.5ルピー/平米)を支払うことで、借地権を自由保有権に変換するオプションあり。	<b>【中央加工施設】</b> 冷蔵設備: 5,000トン 急速冷凍設備(IQF): 1.5トン/hr 倉庫: 5,000トン サイロ: 15,000トン ボイラー: 25トン/hr テスト・品質管理・R&Dラボ 急速冷凍庫: 1,500トン その他研究・運搬等設備	記載なし 農産物中心(提供設備から推測)
17	Cre mica Food Park Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: 11 Eastern Avenue, Maharani Bagh New Delhi-110065  担当者: Mr. Shri Akshay Bector (Managing Director) Mobile: 9815400084	<ul style="list-style-type: none"> <li>当SPVの出自であるCre mica Foodsは、ルディアナ拠点のソース・ディップ・ドレッシングといった加工調味料およびスナックを中心としたインドの食品加工会社であり、インド大手流通・外食チェーンを主な顧客に持つ。</li> <li>自社の製造キャパシティ増加を主な目的とし、フードパーク事業にも乗り出した模様。</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 穀物バルピング・バルクパッケージライン: 24トン/hr 冷凍倉庫: 1,000トン その他研究施設、木材・もみ殻を原料としたボイラー設備、原料取扱いのための設備・ツールおよびリーフアーバン	野菜類
18	RFK Greens Food Park Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: 20-B, Industrial Estate Bawzulla, Srinagar - 190005 TEL: 0194-2437293  担当者: Mr. Shri Davood Rashid Mobile: 097977944118 E-mail: rfkgreens@gmail.com mail@rfkgreensfoodpark.com	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイトが存在しないため詳しいことは不明だが、当SPVのメンバーはJammu拠点の食品加工会社Agrikash Industriesと、発・送配電会社V R B Hydro Power出身者などで構成される。</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 冷蔵倉庫: 2,000トン バックハウス: 1トン/hr 鶏肉処理加工ユニット: 2,000羽/hr 山羊・羊処理加工室: 600頭/日 急速冷凍室: 2トン 冷蔵室: 200トン ミルクチャージングユニット: 5,000リットル 倉庫: 2,000トン 品質管理ラボ	記載なし 食肉、乳(提供設備から推測)
19	Kerala State Industrial Development Corporation Limited (KSIDC)	ヘッドオフィス: T.C. XI/266, Keston Road, Kowdiar, Thiruvananthapuram - 695003 TEL: +91-471-2318922 E-mail: ksidc@vsnl.com  リジョナルオフィス: 2nd Floor Choice Towers, Manorama Junction, Kochi - 682016 TEL: +91-484-2323010/2323101  担当者1: Mr. Arun G (Enterprise Facilitator) Mob: 9061124411 Email: ipksidc@ksidcmail.org 担当者2: Mr. Binil Kumar E-mail: binil@ksidcmail.org, ksidckochi@eth.net Mobile: 9846280886	<ul style="list-style-type: none"> <li>KSIDCは、ケララ州の産業・投資振興のために1961年に設立された政府系企業体。様々な産業からの投資のワンストップ窓口として機能、資金サポート、進出コンサルなど総合的なサービスを提供。</li> <li>当フードパーク建設は、州の産業・経済振興の一つとして行われている。</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 倉庫: 1,000トン 冷蔵倉庫: 3,000トン 急速冷凍ユニット: 3,000トン 脱骨・缶詰ユニット、品質管理・テストラボ	シーフード
20	Kerala Industrial Infrastructure Development Corporation (KINFRA)	ヘッドオフィス: KINFRA HOUSE, TC 31/2312, Sasthamangalam, Thiruvananthapuram - 695010 TEL: +91-471-2726585 E-Mail: kinfra@vsnl.com  担当者: Mr. Anil Kumar (Project Manager) TEL: +91-491-2568600	<ul style="list-style-type: none"> <li>KINFRAはKSIDC同様、ケララ州の産業振興のために設立された政府系企業体で、主に工業団地を整備し、メーカーや起業家を支援。</li> <li>食品関係は、当プロジェクトの他2件を手掛けており(Ernakulamディストリクト、Malappuramディストリクト)、前者は加工食品専用、後者はIT、衣料品および食品パークとなっている模様。</li> <li>当パークは中央施設+一次加工施設をWayanad, Kozhikode, Malappuram, Thrissur, Ernakulamの5か所に設置を予定</li> </ul>	<b>【中央加工施設】</b> 倉庫: 6,000トン サイロ: 6,000トン(3,000トンX2棟) 冷蔵倉庫(完成品用): 5,000トン 熟成室: 120トン(30トンX4) バックハウス(選別含む): 10トン/hr スパイス・ソース類加工設備(乾燥設備含む): 15トン/日 カシューナッツロースト設備: 2トン/日 クレート: 50,000 プラスチックパレット: 1,000 電動フォークリフト: 2台 品質管理・テストラボ	ココナツ、しょうが、胡椒、カルダモン、ターメリック等



S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
21	Avantee Mega Food Park Pvt. Ltd. (formerly Ruchi Acroni Industries Ltd.)	コーポレートオフィス: 503, Mahakosh House, 7/5 South Tukoganj, Indore (MP) - 452010 TEL: +91-731-4017526/4017572  担当者: Mr. Manoj Sharma (Project Head) Ruchi Acroni Industries Ltd. 504, Mahakosh House, 7/5, South Tukoganj, Indore (M.P.) -452001. E-mail: manoj_sharma@ruchigroup.com mks1071@gmail.com Tel: 0731-4017582 Mobile: 9755097632	・Ruchi Acroni IndustriesはRuchi Soya Group傘下のスチール等販売会社。Ruchi Soyaグループは1986年に設立された食品加工会社であり、インドにおける大豆種苗の第一人者ともいえる企業。 ・当パークは中央施設の他、一次加工施設4か所 (Indore, Ujjain, Agar, Dhar)、農産物集積センター16カ所で構成の予定。果物・野菜の他、穀類・豆類やスパイスなど、農作物全般の加工に適切な施設・設備の提供を目指している。 ・リース用オープンプロット(計画図では22)の他、右記設備のリースを実施予定	倉庫:10,000トン(素材用6,000トン・完成品用4,000トン) 選別・パッケージングライン 冷凍食品製造設備(IQF含む):1トン/hr ※あらゆるタイプの冷凍ポテト製品加工のラインあり 冷蔵倉庫:2,000トン テストラボ、R&Dセンター、コールドルーム、サイロ、中小企業向けオフィススペース、リーファー車 等	果物: オレンジ、レモン、グアバ、パパイヤ、カスタードアップル 等 穀類: 豆類、トウモロコシ、小麦 等 搾油用植物: 大豆 等 スパイス類: しょうが、チリ、ターメリック、コリアンダー、ガーリック等
22	Wardha Mega Food Park Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: Batul, Plot No. 14, Quetta Colony, Lakadganj Layout, Nagpur - 440008  担当者: Mr. Sh. Hasan Shafiq Mobile : 9823034461	・当SPVはJain Agro Trading Company Private Limitedによって運営。Jain Agroは2011年11月にナグプールにて創業。当パークにはベーカリー、乳製品、豆類の精製など、総計40の食品工場などを誘致する計画。	【中央加工施設】 倉庫:5,000トン 冷蔵倉庫:2,000トン 果物・野菜一次加工(洗浄、選別、パッケージング)施設:5トン/hr 果物加工施設(滅菌含む):5トン/hr ガンマ線照射ユニット:300 Kci (約10トン/hr) 熟成室:100トン 蒸気生成ユニット:8トン/hr 冷蔵トラック:10トンX8台 断熱ミルクタンカー:10klX6台 品質管理・テストラボ、その他パレット、フォークリフトなどの機材	果物、野菜、乳等
23	Paithan Mega Food Park Ltd.	コーポレートオフィス: Nath House, Nath Road, Aurangabad - 431005 Tel : 0240-2376314 /5/6/7, 6645555  担当者: Mr. Shri Nandkishor Kagliwal (Chairman) Mobile: 08888878517 E-mail: nk@nathgroup.com, admin@nathpaper.com	・当SPVは、Nath Biogenes (I) Ltdにより運営。当企業は農業研究・バイオテクノロジー企業であるNath Groupの傘下であり、Nath Groupはハイブリッド種苗、紙パルプ、および契約栽培を長年手掛けている会社。 ・中央施設の他、一次加工施設をPaithan, Ahmadnagar, Parola(Jalgaon)、Kunjirwadi(Pune), Nasikの5か所に設置。	【中央加工施設】 倉庫(原料、完成品用):70,000平方フィート 穀物用サイロ:5,000トン 冷蔵倉庫:1,000トン 選別ライン:3トン/hr 予冷設備:10トン 冷凍野菜用冷凍室:1,000トン 急速冷凍設備(IQF):1トン/hr 熟成室:400トン(バナナ100トン+マンゴー300トン) 果物用滅菌バルビングライン:5トン/hr 蒸気発生ユニット:4トン/hr リーファーバン:5台 その他テストラボ、中小企業向けオフィススペース 等	果物、野菜、乳等
24	Satara Mega Food Park Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: BVG House, Premier Plaza, Pune-Mumbai Road, Chinchwad, Pune - 411019 TEL: +91-20-27464220 E-mail: info@bvgindia.com  担当者: Mr. Shri H.R. Gaikwad (Chairman & Managing Director) Mobile: 09822009325 E-mail: hrg@bvgindia.com	・当SPVはBVG India Ltdのフラッグシップベンチャーである食品加工会社。BVG Indiaはファシリティマネジメント、ロジスティクスおよび運送を手掛ける企業。 ・中央施設の他、一次加工施設をNarayangaon, Ajra, Vita, Mangalwedha, および中央施設と同じ敷地内Degaonの計5か所に設置し、それぞれ1-4か所の農産物集積センターとつなぎ、様々な農産物に対応。 ・インダストリアルプロットは、3,500-6,000平米を計41用意。	【中央加工施設】 倉庫(Godown):5,000トン ラック付き倉庫:2,000トン 原料用倉庫:5,000トン バルビングライン:2トン/hr 冷蔵倉庫:3,000トン 熟成室:384トン ボイラー:4トン 果物・野菜用バックハウス:1トン/hr リーファーバン:10トンX10台 テストラボ  その他オフィス棟、キャンティーン、トレーニングセンター、宿泊・住宅設備等、生活支援施設も整備。	果物、野菜、乳、スパイス・香料類の他、搾油用食物など全般
25	Satara Mega Food Park Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: A-57, Lower Zarkawt, Aizawl - 796001 TEL: +91-389-2346100 E-mail: info@zorammegafood.com  担当者: Mr. Shri Lalrilmawia Tochwawng Malthantluanga, Bada Bazar, Dawrpui, Aizawal - 796 001 Mobile: 09136155266, 09856090380 E-mail: ljahau@gmail.com	・SPVの成り立ちは不明だが、農村部開発NGO、ミゾラム大学のファミリービジネス起業を専門とする教授等、ボードメンバーの経歴等から推測すると、当州の産業振興のために新たに設立された組織と思われる。 ・中央施設の他、一次加工施設をThenzawl, Champhai, Lungleiの3か所に設置予定。	【中央加工施設】 倉庫:3,000トン 冷蔵倉庫:1,000トン 滅菌バルビングライン(パッケージング含む):2トン/hr 熟成室:40トン/日 スパイス乾燥設備:2トン/hr 品質管理・テストラボ、冷蔵トラック	野菜、果物
26	Odisha Industrial Infrastructure Development Corporation (IDCO)	コーポレートオフィス: Sea Food Park, IDCO Tower, Janpath, Bhubaneswar - 751022 TEL: +91-674-2540820 / 2543506 / 2543865 / 2541706 / 2543804 / 2541819 / 2543814 / 2542820 E-mail: cmd@idco.in  担当者: Mr. Saswat Patnaik (Project Manager) Mobile: 9938339399	・IDCOは、オディシャ州の産業・経済振興のため、当州における工場団地及びインフラ設備の提供を行うために1981年に設立した政府系企業体。 ・当フードパーク建設は、州の産業・経済振興の一つとして行われている。	【中央加工施設】 冷蔵倉庫:2,000トン パッケージングユニット ブロックアイス工場:100トン/日 一次加工設備:10トンX15ユニット ポリエチレンユニット:ポリエチレンバッグ5120kg R&Dセンター 品質管理ラボ リーファーバン:10台	シーフード

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
27	MIT'S Mega Food Park Ltd.	コーポレートオフィス: 2(P), Infocity Patia, Chandrasekharpur, PO-KIIT Campus, Bhubaneswar-751024 TEL: +91-674-319606  担当者: Mr. Shri Sriram Panda (Managing Director) Mobile: 9937032210 E-mail: sriram@mitsmegafoodpark.com	・農作物の様々な加工が可能なフードパークとして設立。冷凍、ジュース加工の他、菓子やRTEの加工、また各農産物から生成されるパブリンや色素などの添加物製造など幅広い設備の整備を目指している。	【中央加工施設】 倉庫 冷蔵倉庫: 2,500トン フルーツ加工ライン: 3トン/hr コメ加工ライン: 4トン/hr バックハウス: 10トン/hr 品質管理ラボ(500平米)、フードインキュベーションセンター(2,000平米)	果物: マンゴー、バナナ、パイナップル、グアバなど 野菜: トマト等 穀類等
28	Punjab Agro Industries Corporation Ltd. (PAIC), Ludhiana	コーポレートオフィス: Plot No.2-A, Sector 28-A, Madhya Marg, Chandigarh - 160002 TEL: +91-172-2651576, 2656241, 2656242, 2656247, 2656272 E-mail: mail@punjabagro.gov.in  担当者: Mr. Rajnish Tuli (Deputy General Manager (Projects)) TEL: +91-172-2651561 Mobile: 9592009121 E-mail: agro.rtuli@yahoo.com  ルディアナオフィス担当者: Mr. Salem Tabri (District Manager) TEL: +91-161-2780579 / -2781076 E-mail: ldh.pafc@yahoo.co.in	・PAICは、パンジャブ州政府の組織としてパンジャブ州の農業全般の振興を担う企業として1966年に設立。当初は生産量向上のための農業支援ツール(トラクター、農業等)を提供していたが、80年代から、食品加工を推進するためのプロジェクト開発を開始。2002年には子会社Punjab Agro Foodgrains Corporationを設立し、契約栽培を通じて様々な農産物の調達に対応している。	【中央加工施設】 倉庫: 10,000トン サイロ: 10,000トン スパイラルフリーザー: 500 kg/Hr 冷蔵倉庫(玉ねぎ、にんにく用): 1,000トン 冷凍冷蔵庫(他野菜用): 1,000トン 冷蔵倉庫: 400トン 熟成室(ECRC): 100トン 脱水(エアドライ)ライン: 1トン/hr フードインキュベーションセンター(ICRESAT) テストラボ	農作物全般
29	Sukhjit Mega food Park & Infra Ltd (The Sukhjit Starch & Chemical Limited)	コーポレートオフィス: Sarai Rd., Phagwara, District Kapurthala -144401 TEL: +91-1824-468800, 260314, 260216 E-mail: sukhjit@sukhjitgroup.com Mobile (Sales): +91-9357772020  担当者: Mr. Aman Setia Mobile: 9357772021	・当SPVの母体はSukhjit Starch & Chemicals Limited。同社は1943年創業のトウモロコシを原料としたスターチ、グルコース等の原料・添加物メーカー。パンジャブ州の他、アンドラプラデシュ州、西ベンガル州、ヒマチャルプラデシュ州にも工場を持つ。	【中央加工施設】 倉庫: 20,000トン・13,500平米 サイロ: 5,000トン(1,000トンX5) 多目的冷蔵倉庫: 2,000トン パッケージング設備: 1.5トン/hr スチーム発生装置: 25トン/hr 品質管理・テストラボ 上記の他、敷地内道路、排水設備、中小企業向け工場・オフィスなども設備予定。	穀類を中心とした農作物
30	Greentech Mega Food Park Pvt. Ltd.	A-3, Ganpati Enclave, Civil Lines, Ajmer Rord, Jaipur - 302006 TEL: 0141-4017190  担当者1: Mr. Ajay Kumar Gupta (Director) Mobile: +91-9414046876 E-mail: Kamtechassociates@yahoo.com greentechfood@gmail.com  担当者2: Mr. R. S. Sharma (CEO) Mobile: +91-7073826668 E-mail: rssharma_jpr@yahoo.co.in	・当SPVは、インスタント麺WAIWAIをブランドの一つとして持つCG Foods Indiaを筆頭に、デベロッパ-AGI Developers、再生エネルギーを手掛けるGenus Power Infrastructuresの3社で設立された。	倉庫: 7,500トン(原料用2,500トン+完成品用5,000トン) サイロ: 17,500トン(5,000x2+2,500x2+500x5) 冷蔵倉庫: 5,000トン 急速冷凍設備(IQF): 2トン/hr 急速冷凍室: 1,000トン 乾燥バックハウス(選別、洗浄含む): 10トン/hr 熟成室: 120トン CA/MA貯蔵室: 500トン スチーム発生装置: 8トン/hr リーファーバン: 6台 品質管理・テストラボ その他フォークリフト、クレートなどの各種設備	果物、野菜、乳、穀類
31	Telangana State Industrial Infrastructure Corporation (TSIIC)	ヘッドオフィス: 6th Floor, Parisrama Bhavan, Fateh Maidan Road, Basheerbagh, Hyderabad - 500 004 TEL: +91-40-23237625, 23237626  担当者1: Mr. Sri K.Nagaraju (Manager (AM)) Mobile: 9848352657 E-mail: knagaraju@tsiic.telangana.gov.in  担当者2: Sh. Narsimha Reddy (M.D) TEL: +91-40-23230234  担当者3: Mr. Warangal Rathod Rathan (Zonal Manager (FAC)) Mobile: 98489 33881 E-mail: zm_war@tsiic.telangana.gov.in	・TSIICは、テランガナ州の産業エリア開発のためのインフラ環境整備を行うために2014年に設立された政府系企業体。 ・当フードパーク建設は、州の産業・経済振興の一つとして行われている。	【中央加工施設】 倉庫: 2,000トン 急速冷凍設備(IQF): 1.5トン/hr 急速冷凍・冷凍室: 1,000トン(250トンX4) 無菌フィルタライン: 1.5トン/hr 果物・野菜パッキングライン(洗浄、選別、重量測定含む): 2ライン・各5トン/時間 簡易ミルクチャージングユニット: 50,000リットル/日 回収バン: 10,000リットルX2台 リーファーバン: 10トンX4台 テスト・トレーニング・R&Dセンター その他パレット、クレート、フォークリフト等の設備	果物、野菜、穀類、搾油用作物(大豆など)

S. No	プロジェクト主催会社 (SPV) 名	連絡先情報	SPVおよびプロジェクト概要	提供設備	主要取扱作物 ※いずれもその地域の生産物を利用する製造業を誘致
32	Raaga Mayuri Agro Vet Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: Plot No. 5, Gayatari Estate, Kurnool - 518002 Andhra Pradesh  担当者: Mr. Sh. K. Bhaskar Reddy (CEO) Mobile: 9666710555	・当SPVはAP州の不動産会社であるKJRグループ傘下の会社の手掛かり、KJRグループでは当フードパーク以前にエレクトロニクスパークも手掛けた実績がある。	サイロ: 8,000トン 冷蔵倉庫: 1,000トン 冷凍倉庫: 800トン 熟成室: 1,200トン 急速冷凍設備 (IQF): 500kg/hr 無菌パルピング・濃縮ライン: 5トン/hr 穀類選別ライン: 10トン/hr スパイス加工 (製粉) 110トン/日 その他製造加工に使用する設備・器具 (スタッカー、フォークリフト、クレートなど)	果物、野菜、トウモロコシ・ソルガムなどの穀類・豆類、乳、鶏、卵など農産物全般
33	Smart Agro Food Park Pvt. Ltd.	コーポレートオフィス: 9-Eden Garden, 8-2-595/3/9, Opp. Taj Krishna, Road No.1, Banjara Hills, Hyderabad - 500034 TEL: +91-40-23600004  担当者: Mr. Shri Ramesh Kumar Kambam (Director) Mobile: 09849170300 E-mail: rkambam@hotmail.com	・当SPVは、農業家が出自だが、医薬品、IT業界も手掛けるPailla Malla Reddy氏、Mohan Patalolla氏、Ramesh Kumar Kambam氏らで構成される。 ・中央加工施設の他、一次加工施設をMedchal, Medak, Nalgondaの3か所に設置。	【中央加工施設】 倉庫: 10,000トン (原材料5,000トン+完成品5,000トン) サイロ: 10,000トン 多目的冷蔵倉庫: 5,000トン 急速冷凍庫: 500トン ターメリック加工設備: 20トン/日 品質管理・テストラボ その他製造加工に使用する設備・器具 (パレット、フォークリフト、クレート、計量器など)  【一次加工施設】 Medchalには、野菜・果物用急速冷凍設備や熟成室等、他2か所にはミルク冷却設備などを備え、いずれもリーファーバンを各2台 (9-10トン) 設置予定	果物、野菜、ミルク
34	Sikaria Mega Food Park Pvt. Ltd.	住所①: Buddhamandir, Behind Nirmala Sishu Bhawan Abhaynagar, Agartala - 799005 住所②: Directorate of Industries & Commerce Government of Tripura Khejur Bagan, Agartala - 799006 Telefax: 03812216036  ヘッドクォーター: CF-9, Salt Lake City, Sec-I, Kolkata - 700 064, West Bengal TEL: +91-33-40669256/23346524/400440236 E-mail: mail@tripuramegafoodpark.com TEL: +91-5947-278053	・当SPVは、トリプラ州の産業開発公社であるTripra Industrial Development Corporation Ltd.と、インフラ整備会社Sikariaグループが主催。 ・中央加工施設の他、一次加工施設をSonamura, Hrishyamukh, Chandipur, Manu, Bhudjungnagarの5か所に設置。  2016年10月末時点で、1プロット1ルピーで提供とのアナウンスあり (ただし認可後3か月以内に建設開始、18か月以内に商業的な生産の開始が必須)	【中央加工施設】 倉庫: 5,000トン 冷蔵倉庫: 5,000トン 冷凍庫: 1,000トン 熟成室: 40トン/日 バイナッブルパルピング & 缶詰ライン: 各2トン/hr パッキングユニット: 2トン/hr 品質管理・R&Dセンター  インフラ設備として4MWの電力、上下水道、廃棄物回収、敷地内道路、防火システムなども提供	農産物全般
35	Himalayan Food Park Pvt. Ltd.	登録オフィス: M-13, LGF, South Extension, Part-II, New Delhi - 110049 TEL: +91011-49993911 / 49993999 / 05947-278053 E-mail: himalayanfoodpark@gmail.com  担当者1: Mr. Ashwani Chhabra (Chairman/CEO) Mobile: 9756797304 担当者2: Mr. Suresh Goyal (Director) Mobile: 9810112652 担当者3: Mr. Sandeep Agrawal (GM Project) Mobile: 7351026555 担当者4: Mr. Krishna Narwade (GM Technical)	・当SPVは食品加工、不動産、金融関連企業等の複数会社により組織された企業体。	【中央加工施設】 倉庫: 8,000トン 冷蔵倉庫: 400トン 冷凍庫: 100トン テトラパックパッキング設備: 7,500パック/hr 果物・野菜加工ライン: トマト7トン/hr、リンゴ8トン/hr、ニンジン10トン/hr、果物パルプ5トン/hr スチーム発生設備: 5トン/hr テストラボ  インフラ設備として、電力供給、上下水道、破棄物処理、通信・IT設備等も備える。	野菜: トマト等 果物: リンゴ、マンゴー、グアバ、ライチ、パパイヤ等
36	Adani Ports and Special Economic Zone Ltd.	Tel: +91-2838-289248 / 448  ヘッドオフィス: Adani House, Mithakhali Six Roads, Navarangpura, Ahmedabad - 380009 Tel: +91-79-26565555	・当SPVはグジャラートの商業港であり、農水産物に限らず様々な貨物を取り扱う物流・港湾運営を行う企業。	詳細不明	不明
37	Continental Warehousing Pvt. Ltd. (NhavaSeva)	登録オフィス: 405, Windfall, Sahar Plaza Complex, Andheri Kurla Road, J.B. Nagar, Andheri (East) Mumbai-400059. Tel: +91-22-61116999 Email: panipatpft@cwcnsl.com	・Continental Warehousing社は1997年創業の倉庫・運送業の会社。ロジスティクス大手NDRグループの傘下。 ・主に穀類 (特に米) の加工処理を中心としたメガフードパークを想定。	【設置予定設備】 穀物用サイロ、倉庫、冷蔵倉庫、穀類の精製・パッキング施設 その他電気・水の供給、排水処理プラント、道路等の整備も行う予定。	穀物、主に米類

日系工業団地比較表

	日本企業専用工業団地(JETROが入居支援)				日本企業が開発する工業団地			その他
州	ニムラナ ラジャスタン州	ギロト ラジャスタン州	マンダル グジャラート州	スバ マハラシュトラ州	ワンハブ・チェンナイ タミルナドゥ州	双日マザーソン工業団地 タミルナドゥ州	ポネリ(マヒンドラ) タミルナドゥ州	スリ・シティ アンドラ・プラデシュ州
アクセス方法	デリー中心部より約120km ラジャスタン州東部、国道8号線沿い	デリー中心部より約120km ラジャスタン州東部、国道8号線まで約5km	メサナより57km アーメダバードより70km ムンドラ港から約350km	ブネより北東約75km ムンバイより225km	チェンナイ市内より南へ約55km チェンナイ港から57km エンノール港から70km	チェンナイ市中心部から約45km チェンナイ国際空港から約40km チェンナイ港から約55km	チェンナイ市内中心部から北に約37km (車で約1時間) チェンナイ空港から約50km (車で約1時間半) チェンナイ港から約40km (車で約1時間半) エンノール(カマラジャル)港から約30km (車で約1時間)	チェンナイ市内から約55km 国道5号線沿い チェンナイ港から約65 km Ennore 港から約50 km Kattupalli 港から約52 km (建設中) Dugarajapatnam港から約60 km (予定) エノー・カテユパリ・クリシュナバトナム港から約100 km チェンナイ国際空港から約75km ティルパティー国際空港から約75km 鉄道の接続Sri City入口から約500 m
開発主体	ラジャスタン州産業開発・投資公社 (RIICO)	ラジャスタン州産業開発・投資公社 (RIICO)	グジャラート産業開発公社 (GIDC)	マハラシュトラ州産業開発公社 (MIDC)	アセンドス・シンブリッジ、IREO、日揮、みずほ銀行	双日、マザーソン	Mahindra Industrial Park Chennai Limited 出資比率 Mahindra World City Developers Limited 60% / 住友商事40%	インド民間ディベロッパーSriCity
ステータス	フェーズI, IIおよび輸出加工区が稼働 フェーズIIIを日本企業専用に分譲(期間限定・2016年4月時点情報)	2016年4月より分譲中	フェーズ I として300エーカー。フェーズ II として80エーカーを日系企業向けに分譲中	造成工事中	第 I フェーズとして300エーカー分譲を日本企業を中心に開始	2016年11月時点で造成工事中で正式販売前	2016年12月時点で開発許可取得中、工業団地開発着工前	2016年12月時点でフェーズ II 2500エーカー(造成予定)
総面積	フェーズIII: 1,166エーカー	日本専用: 530エーカー、うち300エーカーを分譲開始	1,235エーカー	日本専用: 200エーカー (Phase1)	1,500エーカー フェーズ I 300エーカー 造成終了 今後フェーズ II、III 造成予定	285エーカー、うち分譲面積195エーカー	総開発面積 260% (予定) 第一期先行開発区 約110ヘクタール 約740エーカー (収用済約540エーカーを先行開発)	フェーズ I 7500エーカー 日本専用区域はうち約300エーカー
土地価格	分譲: 3,000ルピー/平米 (99か年リース) 99か年リース: 土地代とは別途支払い 年払いを設けているが、Development Costとしてほぼ100%の企業が一括払い ※一括払いの場合2%引、預託金は総額1%だが、生産開始後返金	分譲: 3,500ルピー/平米 (99か年リース) 99か年リース: 土地代とは別途支払い 年払いを設けているが、Development Costとしてほぼ100%の企業が一括払い	分譲: 2,310ルピー/平米 (99か年リース) 99か年リース: 土地代とは別途支払い 年払いを設けているが、Development Costとしてほぼ100%の企業が一括払い	分譲: 2,200ルピー/平米 (95か年リース) 95か年リース: 土地代とは別途支払い ※2017年までの限定価格 ※土地収容9割完了。2017年度前半に営業開始。	個別開示 ※条件により異なる ※価格は要問い合わせ(すべて込みの1回払)	未定	未定	Rs. 140万/エーカー 2016年12月時点 (99か年リース) 99か年リース: 土地代とは別途支払い
総プロット数/現在分譲プロット数	総プロット面積約500エーカー/分譲プロット面積250エーカー (分譲の場合、総面積の半分はユーティリティとして使用されなければならない)	総プロット面積約530エーカー/分譲プロット面積約300エーカー (分譲の場合、総面積の半分はユーティリティとして使用されなければならない)	総プロット面積約400エーカー/分譲プロット面積約200エーカー (分譲の場合、総面積の半分はユーティリティとして使用されなければならない)	・2017年度 区画設定完了予定	総プロット面積: 1,500エーカー 分譲プロット面積: 300エーカー (2016年11月時点)	総60区画	未定	総プロット面積: 7500エーカー 分譲プロット面積: 約300エーカー
プロットサイズ(入居可能なプロットのみ)	入居可能なプロット面積: 約100-150エーカー (プロットのサイズは入居予定の工場面積と稼働率を参考に決定)	入居可能なプロット面積: 約250エーカー (プロットのサイズは入居予定の工場面積と稼働率を参考に決定)	入居可能なプロット面積: 約50エーカー (プロットのサイズは入居予定の工場面積と稼働率を参考に決定)	・2017年度 区画設定完了予定	最低2エーカーから入居可能 約200エーカー	最低1エーカーから入居可能	未定	最低3エーカーから入居可能 入居可能なユニット: 240ユニット DTZ -10-15%, SEZ-50-55%, FTWZ-75%
その他費用	申請手数料(購入面積に応じ): 2,000~10,000ルピー 区画レイアウト手数料: 500ルピー エコノミックレント(毎年): 300ルピー/エーカー サービスチャージ(毎年): 6.05ルピー/平米 土地登記費用: 土地代総額の1% PCB(Pollution Controll bord)への造成許可費用 環境アセス基準(Environmental Clearance)申請費用		土地登記費用: 土地代総額の1% PCB(Pollution Controll bord)への造成許可費用 環境アセス基準(Environmental Clearance)申請費用	未定	未定	未定	未定	インフラ開発費 承認手数料
インセンティブ1(州政府)	2013年6月1日以降土地割当を受けた、10億ルピー以上の初期投資を行った企業に対し、土地代返金追加。 継続生産開始3年後: 10% 同5年後: 15%		印紙税割引 ・州レベルの委員会(SLEC: State Level Empowered Committee)に承認されたプロジェクトである場合、印紙税の100%払い戻し ・それ以外は、印紙税の50%の払い戻し	・VST及びCSTの減免 (2017年度GST導入で変更の可能性あり) ・印紙税の免除100% ・電力税の免除100%	VST及びCSTの減免 印紙税の部分的・全免除 電気税の部分的免除	VST及びCSTの減免 印紙税の部分的・全免除 電気税の部分的免除	VST及びCSTの減免 印紙税の部分的・全免除 電気税の部分的免除	印紙税・移転税の免除 印紙税の免除は1つの土地につき1回まで免除。 電気税の部分的免除 1ルピー/ユニットで固定電力コストを商業生産スタートから5年間提供
インセンティブ2(州政府)	・7年間の支払いVAT及びCST総額の30%相当額の投資補助金 ・7年間の支払いVAT及びCST総額の20%を上限とした資金総額補助 7年間の電気手数料50%免除 ・土地購入、リース、造作に対する印紙代40%減免 ※有効期間2014年10月~2019年3月末		・建物とインフラにかかる固定資本投資費用を最大25%、Rs3億まで負担 ・事前に居住委員会から工業地帯の労働者として承認された場合、住民の居住費用を最大25%、Rs2億まで負担	・大規模プロジェクトへの減免措置 適用: 固定資本投資額4,000万ドル以上または直接雇用人数500人以上の場合、 固定資本投資額に対し100%まで優遇措置が受けられる(適用期間7-20年間) ・他、個別投資に対する優遇パッケージ	州政府との個別交渉により、電力の安定供給を得られる可能性あり	州政府との個別交渉により、電力の安定供給を得られる可能性あり	州政府との個別交渉により、電力の安定供給を得られる可能性あり	・大企業は7年間の支払い VAT/CST/SGST総額の50%を免除 ・中規模企業は7年間の支払い VAT/CST/SGST総額の75%を免除 ・小規模企業は5年間の支払い VAT/CST/SGST総額の100%を免除 ・アパレル、食品加工、バイオテクノロジー、自動車企業に関してはVAT/CST/SGSTの譲歩率が高くなる見込み。
インセンティブ3(工業団地限定)	州外への物品販売にかかるCSTを2%⇒0.25%に減免 ※土地取得した日系企業限定、2017年3月末まで有効		特になし	特になし	特になし	電力優先供給(予定)、常駐日本人による各種サポート等	特になし	工業地区のうち、国内市場向けの製造拠点としての国内関税地区(Domestic Tariff Zone)と分けて、海外輸出のため部材の輸入関税が免除される経済特区(Special Economic Zone)と自由貿易倉庫区(Free Trade and Warehousing Zone)とを設置 ※保税措置のため、国内関税地区との間にもゲートが設置されており、出入りが管理されている。

	日本企業専用工業団地(JETROが入居支援)				日本企業が開発する工業団地			その他
州	ニムラナ ラジャスタン州	ギロット ラジャスタン州	マンダル グジャラート州	スパ マハラシュトラ州	ワンハブ・チェンナイ タミルナドゥ州	双日マザーソン工業団地 タミルナドゥ州	ポネリ(マヒンドラ) タミルナドゥ州	スリ・シティ アンドラ・プラデシュ州
現在の進出余地	2015年3月時点で入居率約90% 2015年11月時点で入居企業数46社(操業41/建設中5)	2016年4月より分譲中。	2015年5月時点で空きあり(日系企業のみ)	未定	2015年3月時点で空きあり Phase II Phase III(造成計画中)	開発中	未定	Phase II の造成計画
進出済主要日系企業とその数	46社 企業は別紙参照のこと	未定	1. Roki Minda Company Pvt. Ltd(自動車部品-株式会社ROKIとインドミンダグループの合併) 2. M A Extrusion India Pvt. Ltd.(自動車部品-三菱アルミニウム子会社) 3. TS Tech Co. Ltd.(自動車部品(シート)) 4. 豊田通商株式会社(商社) 5. ムンジャルキリウ(自動車部品)	未定	1. 味の素(食品) 2. 高砂香料工業(香料) 3. 日立オートモティブシステムズ(自動車部品) 4. 東洋水産株式会社(食品)	未定	未定	1. コベルコ建機(建設機械メーカー) 2. 日下部電気(電縫溶接管製造プラントメーカー) 3. IMOP(メタルワンと京葉プランキング)(自動車部品(複合加工メーカー)) 4. 愛三工業(自動車部品) 5. いすゞ自動車(自動車部品) 6. ユニ・チャーム(紙おむつ・衛生用品) 7. バイオラックス(金属製品メーカー) 8. NHK(自動車部品) 9. 日本精機株式会社(自動車部品(計器・センサーメーカー)) 10. 株式会社 菊和(精密ダイカストメーカー) 11. 日鍛バルブ株式会社(自動車部品(発動機弁)) 12. 日本通運(物流) 13. TATA T.RAD(印Tataとティラド合併)(自動車部品(熱交換器)) 14. コベルコプレート/神鋼商事(厚板加工) 15. コベルコクレーン(建設機械) 16. イバラ(バルブメーカー)
進出見込み日系企業またはその数	企業名:非公開 企業社数:5社	企業名:非公開 企業社数:約30社	企業名:非公開 企業社数:5社	未定	企業名:非公開 企業社数:非公開  日産自動車株式会社をメインに見据え、自動車部品メーカーの進出を進める方針	企業名:未定 企業社数:最大60社まで進出可能見込み	未定	非公開
進出済農業・食品・食関連産業の企業(2016年12月現在)	1. テンジク(飲食店) 2. Parle(インド菓子) 3. G. D. Foods MFG India. Pvt. Ltd(インド食品) 4. Richlite biscuits(インド菓子)	無し	無し	未定	1. 味の素(食品) 2. 東洋水産株式会社(食品) 3. 高砂香料工業(香料) 4. 製菓会社(フィリピン菓子)	未定	未定	1. Kellogg's(アメリカ食品) 2. PepsiCo(アメリカ菓子飲料) 3. Mondelez(アメリカ菓子飲料) 4. Lavazza(イタリア飲料) 5. Premium Ingredients(スペイン調味料) 6. Udhayam(インド食品) 7. Everton(イタリア紅茶) 8. Manpasand(インド飲料) 9. Kalimark(インド飲料) 10. Mambalam Lyers(インド調味料)
基礎インフラ	水源:地下水/地下水脈40m(ボーリング推奨60-100m) 利用可能地下水量:20kl/hr 給水:RIICOより商業ベースで購入(14-18ルピー/1000l)、最大利用可能量:4,000l/エーカー・日 電圧:33/11kv GSS	給水:RIICOより商業ベースで購入(14-18ルピー/1000l)、最大利用可能量:4,000l/エーカー・日 電圧:11kv ※33KV以上は地域電力会社に別途申請の必要あり	ナルマダ川からの運河水利用 工業団地内にガス供給 電力:バックアップの稼働コスト節約	電力:50MW 水道:200万l/日	電力容量:188MVA 給水容量:3,300万l/日 ※近隣海水淡水化プラントから給水 雨水排水管、給水・下水管、通信ネットワーク・リサイクル水供給 団地内共有エリアにて消火栓・セキュリティシステム	電力:タミルナドゥ州電力局より供給予定 上水:TWAD(TN州水道局)からの給水等予定 施設:レンタル標準工場、排水処理場、物流倉庫等を予定 通信:日系通信事業者と提携したIDCサービス等を検討中	未定	電力:33kV+11kVと132kVの電力が必要に応じて供給 給水:AP州により1TMC(Thousand Million Cubic feet)割り当て、工業用水24時間供給 ガス:Relianceによるガス管敷設 下水処理施設完備 通信:すべての通信手段がAirtel、Reliance、Aircel、Vodafone、Tata Docomo、BSNL等により開通 雨水排水
その他施設	銀行、郵便局、ATM、警察署、消防署など	銀行、郵便局、ATM、警察署、消防署など	銀行、郵便局、ATM、警察署、消防署など	銀行、郵便局、警察署、消防署など	従業員用の社宅 商業施設は今後建設予定	日本食サービス等、ソフト面の充実を図る予定	未定	住居地区や商業地区も計画されている。また、環境負荷を軽減するため、総面積の12.5%は緑地帯を設ける計画(2014年6月時点) 緊急治療センター、25メートルプール、子供用プール、テニスコート、運動用クラブハウス等建設予定 建売工場(モジュール:1000 Sq.m ~ 2000 Sq.mまで)
その他	・工業団地には環境規制【O Discharge】が設けられており、食品加工時に排出される有害廃液等の排水の値を雨水と同じ純度(20ppm以下)にする必要がある。食品加工業は有害廃液等の排水処理問題を、自社で解決することが必要。排水のリサイクル地などを工場近くに建設しなければ、工業団地での工場建設は不可能。							

	日本企業専用工業団地 (JETROが入居支援)				日本企業が開発する工業団地			その他
州	ニムラナ ラジャスタン州	ギロト ラジャスタン州	マンダル グジャラート州	スパ マハラシュトラ州	ワンハブ・チェンナイ タミルナドゥ州	双日マザーソン工業団地 タミルナドゥ州	ポネリ(マヒンドラ) タミルナドゥ州	スリ・シティ アンドラ・プラデシュ州
ソース	<a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/ietro/overseas/in_newdelhi/rajaasthan/needrana_201604.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/ietro/overseas/in_newdelhi/rajaasthan/needrana_201604.pdf</a>	<a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/ietro/overseas/in_newdelhi/rajaasthan/ghiloth_201604.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/ietro/overseas/in_newdelhi/rajaasthan/ghiloth_201604.pdf</a>	<a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_04.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_04.pdf</a> <a href="http://ic.gujarat.gov.in/?page_id=4006">http://ic.gujarat.gov.in/?page_id=4006</a>	<a href="https://www.behance.net/gallery/30260953/MIDC-SUPA-Japanese-Industrial-Zone-Brochure">https://www.behance.net/gallery/30260953/MIDC-SUPA-Japanese-Industrial-Zone-Brochure</a>	<a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_01.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_01.pdf</a> <a href="https://www.okb-kri.jp/userdata/pdf/report/155-focus1.pdf">https://www.okb-kri.jp/userdata/pdf/report/155-focus1.pdf</a>	<a href="http://www.soiitz-jp.com/ichiran/india.pdf">http://www.soiitz-jp.com/ichiran/india.pdf</a> <a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_02.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_02.pdf</a>	<a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_03.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_03.pdf</a> <a href="https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_04.pdf">https://www.ietro.go.jp/ext_images/the/me/fdi/industrial-park/developer-material/pdf/201601/in_04.pdf</a>	<a href="http://www.sricity.in/ip/">http://www.sricity.in/ip/</a> <a href="https://www.ibic.go.jp/wp-content/uploads/page/2015/08/40747/inv_India31.pdf">https://www.ibic.go.jp/wp-content/uploads/page/2015/08/40747/inv_India31.pdf</a> <a href="https://www.okb-kri.jp/userdata/pdf/report/155-focus1.pdf">https://www.okb-kri.jp/userdata/pdf/report/155-focus1.pdf</a> <a href="http://home.iejta.or.jp/iad/pdf/03_1_Sri%20City%20-%20Industrial%20Zone%20-%20South%20India.pdf">http://home.iejta.or.jp/iad/pdf/03_1_Sri%20City%20-%20Industrial%20Zone%20-%20South%20India.pdf</a> <a href="https://www.apindustries.gov.in/apindus/Data/Industry1/Andhra%20Pradesh%20Industrial%20Development%20Policy%202015-20.pdf">https://www.apindustries.gov.in/apindus/Data/Industry1/Andhra%20Pradesh%20Industrial%20Development%20Policy%202015-20.pdf</a>

※上記ウェブサイト情報の他、各工業団地担当者へ問い合わせし、インフォブリッジにて作成